

款	項	目	担当部局・課名		危機管理監 危機管理課				
9	1	1							
事業名			高機能消防指令施設更新事業						
事業区分		新規事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金、補助及び交付金	③	負担金（一部事務組合）	4,984	4,935	0	49	99.0%
	②							0	
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正	○	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		4,935	決算に関する説明書		
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	246	
	臨時会 補正			⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		4,935	該当／頁	247	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	4,935		0	0	4,900	0	35		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			■ 事業内容：高機能消防指令施設更新 ■ 目的：備北地区消防組合消防本部・三次消防署移転のタイミングに併せ、高機能通信指令施設を全面更新するため設計を行い、火災・救助・救急等をはじめとする各種消防業務における通信連絡体制を迅速に処理して消防活動の効果的運用を図ることにより、市民の生命・財産を保護し福祉の増進に寄与する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	【事業名】高機能消防指令センター施設整備基本・実施設計業務委託料 【事業費】（単位：円）								
	区分	予算額	実績額	予算残					
	消防組合	9,000,000	8,910,000	90,000					
	三次市	4,984,000	4,934,269	49,731					
	庄原市	4,016,000	3,975,731	40,269					
	※ R5年度分担割合 三次市 55.379% 庄原市 44.621%								
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			履行期間内完了により新消防庁舎基本・実施設計（履行期間：R5.12.26～R6.10.31）へ反映することができた。						

現在の通信指令センター

款	項	目	担当部局・課名		危機管理監危機管理課																																												
9	1	1																																															
事業名			消防車両等整備事業																																														
事業区分			継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」																																												
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%																																								
	①	負担金、補助及び交付金	③負担金（一部事務組合）		51,098	48,343	0	2,755	95.0%																																								
	②							0																																									
	③							0																																									
	④							0																																									
	⑤							0																																									
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →		48,343	決算に関する説明書																																									
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	246																																								
	臨時会 補正				⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →		48,343	該当／頁	247																																								
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			入札残による																																														
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源																																										
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																																											
令和5年度	48,343		0	0	45,300	0	3,043																																										
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																																														
	国庫支出金																																																
	県支出金																																																
	負担金等その他																																																
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			■事業内容：備北地区消防組合の車両更新の実施 ■目的：計画的な車両更新を行い、消防活動及び救急活動の更なる充実強化と災害対応への効率化を図る。																																														
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等			■事業実績 備北地区消防組合が保有する次の車両について、計画的な更新を実施するため、負担金を支出した。 ・負担金、補助及び交付金（③負担金（一部事務組合））48,343千円（単位：千円） <table><tr><th colspan="2">購入備品名称</th><th>購入数</th><th>予算額</th><th>決算額</th><th>配備地</th><th>三次市</th><th>庄原市</th></tr><tr><td>1</td><td>指揮広報車</td><td>1台</td><td>7,206</td><td>6,608</td><td>消防本部</td><td>3,660</td><td>2,948</td></tr><tr><td>2</td><td>消防ポンプ自動車</td><td>1台</td><td>33,042</td><td>30,965</td><td>東城消防署</td><td>17,148</td><td>13,817</td></tr><tr><td>3</td><td>高規格救急自動車</td><td>1台</td><td>53,020</td><td>49,720</td><td>東城消防署</td><td>27,534</td><td>22,186</td></tr><tr><td></td><td></td><td>3台</td><td>93,268</td><td>87,293</td><td></td><td>48,343</td><td>38,950</td></tr></table> （負担割合）三次市：55.379%、庄原市：44.621%							購入備品名称		購入数	予算額	決算額	配備地	三次市	庄原市	1	指揮広報車	1台	7,206	6,608	消防本部	3,660	2,948	2	消防ポンプ自動車	1台	33,042	30,965	東城消防署	17,148	13,817	3	高規格救急自動車	1台	53,020	49,720	東城消防署	27,534	22,186			3台	93,268	87,293		48,343	38,950
購入備品名称		購入数	予算額	決算額	配備地	三次市	庄原市																																										
1	指揮広報車	1台	7,206	6,608	消防本部	3,660	2,948																																										
2	消防ポンプ自動車	1台	33,042	30,965	東城消防署	17,148	13,817																																										
3	高規格救急自動車	1台	53,020	49,720	東城消防署	27,534	22,186																																										
		3台	93,268	87,293		48,343	38,950																																										
別添資料等 無 （事業一覧等）			  																																														
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			車両の不具合等により消防・救急活動等に支障がないよう、計画的な車両更新を行い、市民の安全・安心を確保した。																																														

款	項	目						
9	1	3	担当部局・課名	危機管理監 危機管理課				
事業名			備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎用地取得事業					
事業区分			新規事業					
			第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		④調査測量設計監理等委託料	25,800	19,909	5,891	0	77.0%
	②						0	
	③						0	
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正	○	12月補正	⑥(①～⑤の計) ➡			19,909	決算に関する説明書
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡				該当／頁 250
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡			19,909	該当／頁 251	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度	19,909		0	0	2,300	0	17,609	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			■ 事業内容：備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎整備事業に伴う用地取得 ■ 目的：備北地区消防組合が令和5年3月に策定した「備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎整備基本計画」に基づき、消防本部及び三次消防署の安全な場所（高台）への移転先として、広島県の高平施設の用地を取得し、平常時及び大規模災害発生時における消防機能（消防力発揮）の継続性の確保及び充実強化を図る。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等			■ 事業実績：取得面積101,786.09㎡（うち消防事業用地12,674.14㎡） ① 用地測量業務 38,480,200円 請負業者 (株)タマルコンサルタント ② 施設解体等設計業務 4,160,090円 請負業者 (有)元廣建築設計事務所 ③ 土壌汚染詳細調査業務 11,000,000円 請負業者 (一財) 広島県環境保健協会 【土地取得特別会計との事業費の按分】 ①用地測量費 取得面積全体に対する消防事業用地と事業用地以外の面積比率により按分 ②解体等設計費 算出した設計額に対する①の用地内の解体対象施設等の設計額の比率により按分 ③土壌汚染調査業務 対象区画が消防事業用地内のため消防費で支出 ■ 執行状況一覧（単位：円）					
別添資料等			事業執行内訳					
有 (事業一覧等)			予算区分		計	用地測量費	解体設計費	土壌汚染調査費
			全体	執行額 (予算)	53,640,290 (77,087,000)	38,480,200 (57,369,000)	4,160,090 (8,520,000)	11,000,000 (11,198,000)
			消防施設経費	執行額 (予算)	19,908,945 (25,800,000)	4,791,455 (7,144,000)	4,117,490 (7,458,000)	11,000,000 (11,198,000)
			土地特別会計	執行額 (予算)	33,731,345 (51,287,000)	33,688,745 (50,225,000)	42,600 (1,062,000)	
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			用地取得に必要な取得面積の確定（隣接地権者の立会を含む）と鑑定評価の資料として建物等を含めた取得として施設等の解体工事費及び汚染土壌の処分費を算出した。 R5年8月に取得予定地内に基準値を超える鉛及びヒ素が検出されたことに伴い、汚染土の処分に係る汚染区画の詳細調査（汚染深度の特定等）の実施を要したことから当初計画の年度内取得には至らなかったが、調査スケジュールの前倒しを図ったことから、R6年度当初での取得が可能となり、消防新庁舎建設スケジュールに影響ないかたちで事業を完了することができた。					

資料 備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎用地取得事業

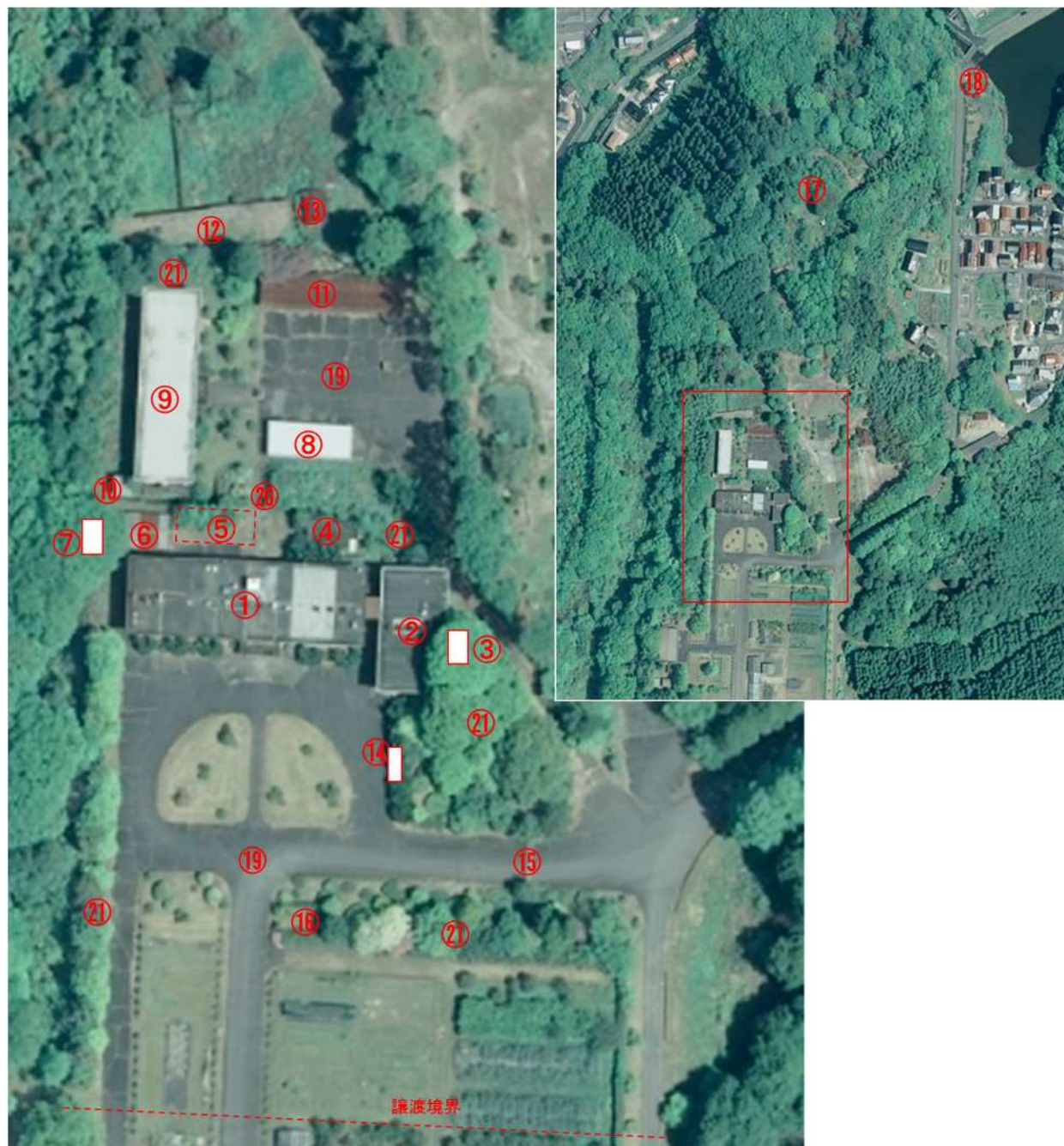
1 用地取得

土地の所在	地 番	公簿地目	現況地目	公簿面積(㎡)	取得面積(㎡)
三次市十日市町字高平	10144番2	雑種地	雑種地	92,594	57,243.50
	10168番1	宅地	宅地	5,908.92	5,909.62
	10171番1	保安林	保安林	5,341	5,304.12
	10157番2	保安林	保安林	28,480	28,506.81
	10152番1	保安林	保安林	3,248	3,186.66
三次市十日市南六丁目	151番1	雑種地	雑種地	1,645	1,635.38
面積合計				137,216.92	101,786.09
うち消防事業用地					12,674.14



2 解体設計対象施設等

番号	対象施設等	番号	対象施設等	番号	対象施設等
①	本館	⑧	車庫	⑮	門扉
②	研修所	⑨	別館	⑯	風速計
③	特殊ガスボンベ庫	⑩	附属屋	⑰	展望台
④	第2ポンプ施設	⑪	車庫	⑱	第1ポンプ施設
⑤	浄化槽	⑫	キジ放飼場	⑲	アスファルト舗装
⑥	プレハブ倉庫	⑬	倉庫	⑳	コンクリート構造物
⑦	自転車置場	⑭	掲揚台・ポール	㉑	立竹木



3 土壌汚染詳細調査

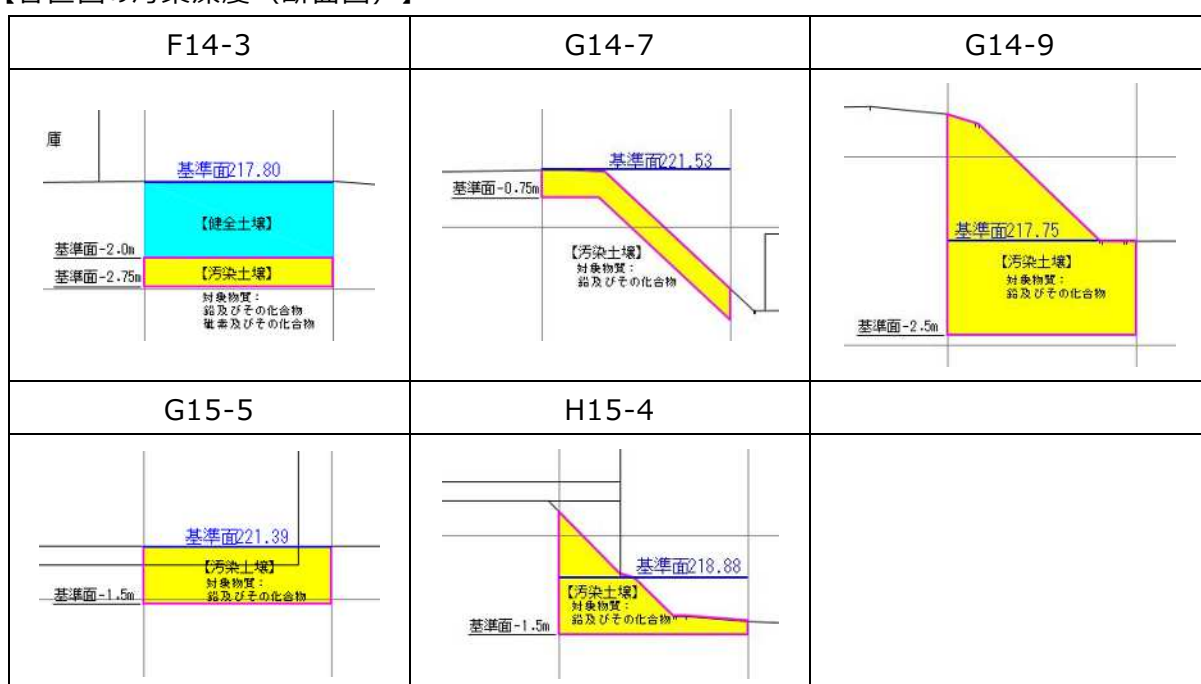
(1) 対象箇所



(2) 調査結果

単位区画		F14-3		G14-7	G14-9	G15-5	H15-4
調査対象物質		砒素及びその化合物溶出量	鉛及びその化合物溶出量	鉛及びその化合物溶出量	鉛及びその化合物溶出量	鉛及びその化合物溶出量	鉛及びその化合物溶出量
汚染土壌深度（基準面からの深度）		-2.0～-2.75m		0～-0.75m	0～-2.5m	0～-1.5m	0～-1.5m
地下水	地下水位(m)	基準面高さ -8.03m		－	-6.31m	-8.66m	-4.32m
	地下水基準適否	適合		－	適合	適合	適合

【各区画の汚染深度（断面図）】



款	項	目		担当部局・課名	危機管理監危機管理課
9	1	4			

事業名	流域治水事業（排水ポンプ場長寿命化整備事業／上志和地）
-----	-----------------------------

事業区分	継続事業（拡充）	第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」
------	----------	-----------------------------

事業 (経費) 内の主 な費目	節名称	細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料	④調査測量設計監理等委託料	17,468	17,468	0	0	100.0%
	② 工事請負費	①工事請負費	195,532	126,532	69,000	0	65.0%
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	

補正 区分	6月補正	12月補正	○	⑥（①～⑤の計） ➡	144,000	決算に関する説明書	
	9月補正	○	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡	0	該当／頁	252
	臨時会 補正			⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡	144,000	該当／頁	253

100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）	
-------------------------	--

歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度	144,000	79,200	21,600	4,700	0	38,500
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	基盤整備促進事業補助金（農業水路等長寿命化・防災減災事業）				
	負担金等その他					

事業内容及び めざした目的 (具体的に)	■ 事業内容：上志和地排水機場のポンプ・電気設備設備更新工事 ■ 目的：平成3年の供用開始から30年が経過したポンプ・電気設備及び除塵機等を更新することで、設備の長寿命化を図り、当該地域の水災害による被害軽減を図る。
----------------------------	---

事業実績

(詳細説明)

事業一覧表／状況写真／図面等

■事業実績

・【繰越】委託料（④調査測量設計監理等委託料） 契約額：17,468,000円

業務内容：上志和地排水機場実施計画策定業務

請負業者：アジア航測株式会社広島支店

契約期間：令和5年2月27日～令和5年9月30日

・工事請負費（①工事請負費） 契約額：261,417,200円

（うち令和5年度執行額126,532,000円）

業務内容：上志和地排水機場ポンプ設備分解整備及び電気設備更新工事

請負業者：株式会社山産広島支店

契約期間：令和5年10月3日～令和7年3月21日

(単位：千円)

設備等	予算額	内訳				契約額
		R4→R5 繰越額	R5予算額	R5→R6 繰越額	R6債務負担	
【No.2】主ポンプφ700 電気設備	267,532	15,532	111,000	69,000	72,000	261,417

■事業スケジュール

・令和3～4年度：機能診断・機能保全業務（R5執行126,532千円：出来形部分払い）

・令和4～5年度：実施設計

・令和5～7年度：No.2ポンプ設備分解及び電気設備更新工事ほか



更新する電気設備の一部



ポンプ設備の一部

成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	当該地域における水災害による被害の軽減を図るため、長寿命化事業を計画的に推進し、機械・設備の安定的な稼働を確保した。
--	--

款	項	目	担当部局・課名		危機管理監危機管理課												
9	1	4															
事業名			流域治水事業（仮設ポンプ商用電源化）														
事業区分			継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」												
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%								
	① 委託料		④調査測量設計監理等委託料		2,090	2,090	0	0	100.0%								
	② 工事請負費		①工事請負費		13,235	6,361	6,160	714	48.0%								
	③ 備品購入費		②機械器具費		5,410	4,454	0	956	82.0%								
	④ 備品購入費		③その他備品購入費		5,300	5,104	0	196	96.0%								
	⑤							0									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計）➡			18,009	決算に関する説明書										
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			0	該当／頁	252									
	臨時会 補正	第2回臨時会	⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 ➡			18,009	該当／頁	253									
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			入札残による。														
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源										
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他											
令和5年度	18,009		0	0	12,800	0	5,209										
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称														
	国庫支出金																
	県支出金																
	負担金等その他																
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			■ 事業内容：商用電力を利用した仮設ポンプの設置・運用 ■ 目的：内水排水用の仮設ポンプについて、地域の消防団等でも機動的に稼働できるよう操作が簡単な商用電力を利用する方式を推進する。停電時や緊急時のバックアップとして、排水ポンプ車や可搬型排水ポンプの有効利用を図るとともに、建設事業者等と発電機設置（切替）について緊急対応等を依頼することにより、排水体制の重層化を図る。														
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			■ 事業実績 内水対策として設置する仮設ポンプのうち、排水量が少ない既設箇所について、地域の消防団等でも機動的に稼働できる商用電力を利用する方式を推進した。 ・委託料（④調査測量設計管理等委託料）2,090,000円 業務内容：排水水中ポンプ（商用電源）設置 測量設計業務 請負業者：株式会社タマルコンサルタント 契約期間：令和5年9月19日～令和6年2月29日 ・工事請負費（①工事請負費）6,361,800円 工事内容：操作盤等設置に係る電気工事（R4繰越分） ●下志和地町 2,695,000円 【請負者：清政電業（株）、完了日：R5.4.17】 ●三良坂町2カ所 3,317,000円 【請負者：（株）エーグロー、完了日：R5.5.10】 （現年分） ●中瀬旅館裏盛土 349,800円【請負者：（有）植田組、完了日：R6.3.6】 ・備品購入費（②機械器具費）4,454,340円 水中ポンプ等資機材（水中ポンプ、サニーホース、サクシオンホース、マイトクランプ等） ・備品購入費（③その他備品購入費）5,104,000円 発電機等資機材（発電機×2、キャブタイヤ10m×2、架台×2、分電盤×2）														
別添資料等 無 （事業一覧等）																	
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			地元住民・消防団等で運用可能な商用電力を利用した排水水中ポンプの設置により、迅速で柔軟な内水排水作業の実施が可能となった。 【導入実績】 <table><tr><td>発注年度</td><td>箇所数</td></tr><tr><td>R3</td><td>3（小文町・下志和地町・作木町）</td></tr><tr><td>R4</td><td>4（塩町・下志和地町・三良坂町2ヶ所）</td></tr><tr><td>R5</td><td>2（十日市中2ヶ所）</td></tr></table>							発注年度	箇所数	R3	3（小文町・下志和地町・作木町）	R4	4（塩町・下志和地町・三良坂町2ヶ所）	R5	2（十日市中2ヶ所）
発注年度	箇所数																
R3	3（小文町・下志和地町・作木町）																
R4	4（塩町・下志和地町・三良坂町2ヶ所）																
R5	2（十日市中2ヶ所）																



令和 5 年度 三次市

一般会計 歳入歳出決算認定に係る事業別審査シート

NO, 6

(単位：千円)

款	項	目	担当部局・課名				危機管理監危機管理課					
9	1	5										
事業名			災害用備蓄品整備事業									
事業区分		継続事業			第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」							
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%			
	① 需 用 費		①消耗品費		1,494	1,490	0	4	100.0%			
	②							0				
	③							0				
	④							0				
	⑤							0				
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①～⑤の計) ➡			1,490	決算に関する説明書			
	9月補正	○	3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			0	該当／頁	252		
	臨時会 補正				⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➡			1,490	該当／頁	253		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)												
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源					
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他						
令和5年度	1,490		0	0	0	500	990					
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称									
	国庫支出金											
	県支出金											
	負担金等その他		指定寄附金									
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			■ 事業内容：三次市備蓄計画に基づく備蓄品の整備 ■ 目的：食品のローリングストックや停電時対応の照明など、備蓄品の計画的な整備を行う。									
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状 況写真／図面等	■ 事業実績 ・需用費 (①消耗品費) 1,489,746円											
	品 目	単位	R5年度 購入数	R5年度末 備蓄数	自主防災組 織保有数	目標数量	品 目	単位	R5年度 購入数	R5年度末 備蓄数	自主防災組 織保有数	目標数量
	アルファ米(わかめご飯等)	食	600	8,300	3,000	9,400	床マット	巻	—	93	180	93
	ビスケット	食	600	1,700	2,000	3,200	簡易ベット	台	—	568	70	100
	ミネラルウォーター(500ml)	本	240	6,540	4,000	6,300	発電機	台	—	15	55	19
	液体ミルク	缶	240	2,400	—	200	投光器	台	19	19	75	19
	キューブミルク	kg	28.5	51.5	—	10	コードリール	台	—	—	38	19
	毛布	枚	—	2,380	1,000	3,200	LEDランタン	台	70	70	60	370
	ほ乳瓶	本	—	600	460	600	簡易間仕切り (タフホール)	セット	—	180	38	155
	生理用品	枚	—	6,640	3,000	7,200	間仕切り (テント)	—	—	207	169	—
	おむつ(小児)	枚	—	580	1,000	500	ラジオ	台	—	74	66	74
	おむつ(大人)	枚	—	340	1,700	700	テレビ	台	—	74	—	74
	マスク	枚	—	2,600	2,600	2,600	簡易トイレ(ホークアールトイレ)	台	—	300	55	296
	口腔洗浄液	回分	—	—	—	7,800	簡易トイレ(排便袋)	枚	—	7,180	1,500	13,000
	トイレトペーパー	本	—	936	200	400	トイレテント	台	112	119	7	148
	別添資料等	※ 備蓄物資は、各指定避難所・岡竹地区備蓄倉庫等へ保管										
	無											
(事業一覧等)												
成果/評価	* 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか 食料及び飲料水等賞味期限や消費期限があるもの備蓄品はローリングストックを行いながら適切に管理するとともに、短期間の避難生活に必要な物資等の備蓄を進め、災害発生に備えた。											

款	項	目	担当部局・課名		危機管理監危機管理課				
9	1	5							
事業名			避難行動要支援者支援事業						
事業区分		継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	役 務 費	①通信運搬費		110	72	0	38	65.0%
	②	使用料及び賃借料	⑥事務機器等借上料金		1,489	1,489	0	0	100.0%
	③							0	
	④							0	
	⑤							0	
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①～⑤の計) ➡		1,561	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 ➡		0	該当／頁	254
	臨時会 補正				⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 ➡		1,561	該当／頁	255
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和5年度	1,561		0	0	0	0	1,561		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			■ 事業内容：避難行動要支援者管理システムによる名簿情報の管理，更新及び作成 ■ 目的：令和3年度に作成した名簿情報と定期的に更新・作成する名簿情報により，避難行動要支援者の個別避難計画の作成を推進し，多発する大規模災害から，要支援者の避難の実効性を高め，共助による避難支援等の意識向上と定着を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等			■ 事業実績 ・役務費 (①通信運搬費) 71,760円 ・使用料及び賃借料 (⑥事務機器等借上料) 避難行動要支援者システムリース料 124,080円／月×12ヶ月 = 1,488,960円 ■ これまでの取組状況 ・令和3年4月 三次市避難行動要支援者名簿に関する条例 (以下「条例」という。) 施行 ・令和3年12月～ システム導入 (名簿作成作業開始) ・令和4年3月～ 避難支援等関係者への名簿情報の提供を開始 ・令和5年5月・11月 避難行動要支援者へ最新の名簿情報を提供 ・令和5年9月・令和6年3月 新規対象者へ名簿掲載に係る意向確認通知発送 ・随時 自主防災組織・民生委員等への制度説明，調整会議への参加 ■ 名簿掲載状況						
別添資料等			区分		R4年度末	R5年度末			
無			対象者		2,486人	2,470人			
(事業一覧等)			名簿掲載者		2,265人	2,188人			
成果/評価 * 事業を執行したことにより，どのような成果や効果をもたらしたのか			個別避難計画作成の基本となる情報等を取りまとめた名簿情報を作成し，避難支援等関係者 (自主防災組織・民生委員・福祉事業所など) への提供を行った。計画作成・避難支援のための具体的な取組が始まった地域もあり，今後も丁寧な説明・支援を行っていく。						

款	項	目	担当部局・課名		危機管理監危機管理課																																														
9	1	5																																																	
事業名			自主防災組織活動支援事業																																																
事業区分		継続事業		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」																																															
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%																																										
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)		5,920	5,329	0	591	90.0%																																										
	②							0																																											
	③							0																																											
	④							0																																											
	⑤							0																																											
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		5,329	決算に関する説明書																																												
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	254																																											
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		5,329	該当/頁	255																																											
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)																																																			
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源																																												
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																																													
令和5年度	5,329		0	0	0	2,484	2,845																																												
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																																																
	国庫支出金																																																		
	県支出金																																																		
	負担金等その他		市町村振興協会助成金 安全・安心まちづくり事業助成金																																																
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			■ 事業内容：地域防災力向上のための自主防災組織の支援，地域避難場所等の運営補助及び防災士の資格取得支援 ■ 目的：自主防災組織による防災訓練等の活動や地域避難場所等の開設・運営を支援する。また，市民啓発の人材として防災士を育成することにより，地域防災力の向上を図る。																																																
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			■ 事業実績 ① 自主防災活動補助金 5,248,623円 補助内容：自主防災組織が実施する防災訓練等の実施に係る経費，災害備蓄品の整備に係る経費など 各自主防災組織の補助金活用状況：別紙のとおり ② 地域避難場所等運営補助金 10,000円 (@5,000円/日×2ヶ所) 補助内容：地域避難場所等の開設・運営に要する経費 ③ 防災士育成事業補助金 70,000円 (3人分) 補助内容：防災士の資格に要した経費の2分の1を補助 (上限30,000円) <地域別の三次市防災士ネットワーク加入状況> <table><tr><td>河内</td><td>三次</td><td>十日市</td><td>栗屋</td><td>川地</td><td>青河</td><td>酒屋</td></tr><tr><td>2人</td><td>8人</td><td>3人</td><td>2人</td><td>9人</td><td>2人</td><td>3人</td></tr><tr><td>八次</td><td>和田</td><td>神杉</td><td>田幸</td><td>川西</td><td>君田</td><td>布野</td></tr><tr><td>6人</td><td>5人</td><td>10人</td><td>4人</td><td>4人</td><td>9人</td><td>5人</td></tr><tr><td>作木</td><td>吉舎</td><td>三良坂</td><td>三和</td><td>甲奴</td><td>合計</td><td></td></tr><tr><td>6人</td><td>6人</td><td>6人</td><td>11人</td><td>15人</td><td>116人</td><td></td></tr></table>							河内	三次	十日市	栗屋	川地	青河	酒屋	2人	8人	3人	2人	9人	2人	3人	八次	和田	神杉	田幸	川西	君田	布野	6人	5人	10人	4人	4人	9人	5人	作木	吉舎	三良坂	三和	甲奴	合計		6人	6人	6人	11人	15人	116人	
河内	三次	十日市	栗屋	川地	青河	酒屋																																													
2人	8人	3人	2人	9人	2人	3人																																													
八次	和田	神杉	田幸	川西	君田	布野																																													
6人	5人	10人	4人	4人	9人	5人																																													
作木	吉舎	三良坂	三和	甲奴	合計																																														
6人	6人	6人	11人	15人	116人																																														
別添資料等 有 (事業一覧等)																																																			
成果/評価 * 事業を執行したことにより，どのような成果や効果をもたらしたのか			防災訓練や研修の実施，災害時の備蓄品整備等を通じて，共助による防災意識の向上に取り組んでいる。取組を通じて，自主防災組織と防災士，消防団など，地域の関係機関の連携・協力体制づくりが進んでいる。																																																

令和5年度 自主防災組織活動支援事業補助金 活用状況

番号	地区名	交付確定額	事業内容
1	河内自主防災会	280,000	炊出し訓練食材, 保存食, 消耗品講演会チラシ代, 備品代
2	三次地区自主防災会	280,000	避難所訓練, 消耗品費, 避難所備品費
3	十日市自主防災連合会	264,110	防災啓発チラシ印刷代
4	栗屋町自主防災会	280,000	備蓄品 (蓄電池購入)
5	川地自主防災連合会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
6	青河自主防災会	275,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
7	酒屋地区自主防災会	280,000	保存食, 水, 簡易トイレ, 段ボールトイレ, カセットコンロ,
8	八次地区自主防災会	229,513	講師代, 消耗品費, 避難所備品費 (食料・水) ,炊出し食材代
9	和田安全ネットワーク	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
10	神杉自主防災会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
11	田幸地区自主防災会	280,000	避難所備品費 (ストーブ, 段ボールベッド, 電池) 収納庫代
12	川西自主防災会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
13	君田町自主防災連合会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
14	布野町自主防災会	280,000	避難所備品費 (カセットコンロ, 扇風機, 照明, 食料) 炊出し代
15	作木町自主防災会	280,000	避難所備品費, 講師代, 印刷代, 食糧費, 切手代
16	吉舎町自主防災組織連合会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
17	三良坂町自主防災連合会	280,000	避難所備品費 (ベッド, 間仕切りテント, 食料・水) 講師代
18	三和町自主防災連合会	280,000	防災訓練 (防災キャンプ) 消耗品費, 避難所備品費, 起震車代
19	甲奴町振興協議会連合会	280,000	防災訓練, 消耗品費, 避難所備品費
計		5,248,623	

※ 補助上限額 : 各自主防災組織 1 組織あたり280,000円